

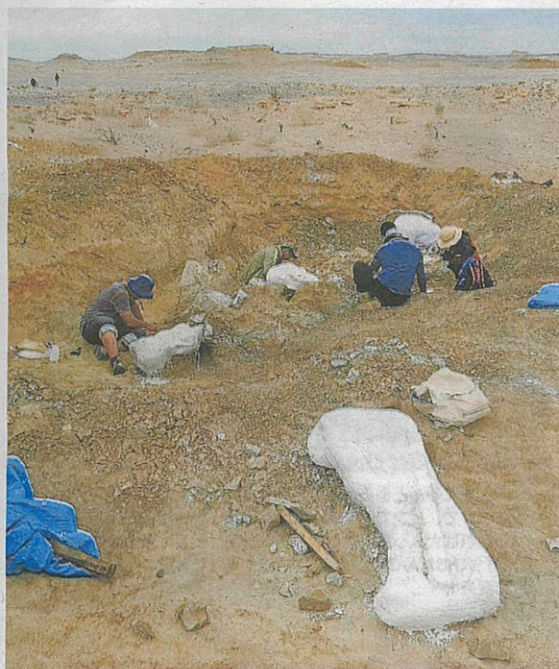
特集

大きな竜脚類の発掘現場。手前の長い骨は掘り出す前の竜脚類の大腿骨（太ももの骨）。長さが150センチ以上あります。これに石こうにひたした布を巻いて掘り出します



子どものころ、腕の骨を折ったことがあります。ドキドキしている私にお医者さんはレントゲン写真を示し、「ぼったり折れてるよ」。そして私の腕を綿のようなものでぐるむと、白いドロドロしたものをはじめ布でぐるぐる巻きに。それが「石こう」という大変便利なものだとその時とほとんど同じ方法で、恐竜の骨の化石を保護して運んでいます。大きな骨や壊れやすい骨は、まず、ぬれた新聞や柔らかい紙で覆い、その上を石こうをしみこませた麻布でぐるぐる巻きにするのです。これをプラスタージャケット（「石こうの上着」の意）と呼びます。発掘現場から研究室へ化石を安全に運ぶための古くからの方法です。100年以上前からその方法は変わりません。今年の発掘では「竜脚類」と呼ばれる大型恐竜の大きな骨を掘り出した。掘り出した「プラスタージャケット」入りの化石は全部でおよそ3ト。これをトラックでウランバートルに運びました。これから研究室で石こうを外し、骨のまわりの岩石を取り除いて研究が始まります。化石のプラスタージャケットを外す時、私はいつも骨折が治

# 石こうで化石を安全に運ぶ



プラスタージャケットで保護して大腿骨（太ももの骨）を掘り出しました

って白い石こうが取れ、恐る恐る腕を動かしたときのあの感動を思い出します。何となく雰囲気が似てるんですね。



調査隊のキャンプには次々とプラスタージャケットで保護した化石が運び込まれていきます

プラスタージャケット

岡山理科大教授・石垣忍

## 恐竜調査隊が行く



### まめ ち しき 豆 知 識

竜脚類 首と尾の長い植物食恐竜。一番大きな仲間は長さが35メートル以上になりました。岡山理科大とモンゴルの共同調査隊は大きな骨も大きな足跡も掘り出しています。



絵：ピャンバーツォクト